Creative Enzymes®

ネイティブ ストレプトマイセス グリセウス プロナーゼ

Cat. No. NATE-0997

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	プロナーゼは、タンパク質を単一のアミノ酸まで消化するいくつかの非特異的なエンドプロテアーゼおよびエクソプロテアーゼの混合物です。
用途	研究用途において、プロナーゼを使用してタンパク質を完全に加水分解します。プロナーゼは、ファージDNAの抽出やプラスミドDNAの分離など、DNAおよびRNAの分離中にタンパク質を分解するために使用されます。使用前にプロナーゼを自己消化させる必要はありません。また、組織解離のためにコラーゲナーゼやトリプシンと併用して組織化学や細胞培養にも使用され、精製された糖タンパク質から糖ペプチドを生成するためにも使用されます。
別名	非特異的プロテアーゼ

製品情報

由来	ストレプトマイセス・グリセウス
形態	凍結乾燥粉末
***EC*番号**	EC 3.4.24.4
***CAS*登□番号**	70851-98-8
活性	~7.0 ユニット/mg タンパク質（40°Cでカゼインを基質として、pH 7.5、約1270 PU/mgまたは約25 PUK/mgに相当）
***pH*安定性**	6.0 - 9.0
最適pH	7.0 - 8.0
最適温度	35–40 °C
特異性	プロナーゼは広範な特異性を持ち、ほぼすべてのタンパク質を個々のアミノ酸に分解します。また、カルボン酸やアルコールを分解します。
安定化剤	カルシウムイオン：カルシウムはプロナーゼ活性を防ぐのに非常に効果的です。0.01–0.1 Mのカルシウムを含む希釈溶液の活性は、中性pHで4から8 °Cの範□で24時間安定していました。プロナーゼは、低レベルのカルシウムによって熱不活化からも保護されます。
単位定義	非特異的プロテアーゼ活性の1単位は、カゼインからのフォリン陽性アミノ酸およびペプチドの放出速度を+40 °CおよびpH 7.5で□加させます。1単位（U）あたり1 µmol/minのチロシンが放出され、単位「PU」では1 µg/分（1 U = 181 PU）です。単位「PUK」では0.1/分です（測定されるのは、フォリン試□との反□によって生成されるモリブデンブルーの吸光度の□化であり、条件は1 PUK = 50 PUです）。

使用法とパッケージング

調製方法	作業濃度: 0.5 ～ 2 mg/ml 作業溶液: 溶媒は蒸留水を推□します。ストック溶液は、プロナーゼ粉末を蒸留水に加えることで調製されます（10 ～ 20 mg/ml）。保存条件（作業溶液）: -15 ～ -25 °C

保管・発送情報

保存方法	2-8°C